

加納 禎子さん（鳥取県琴浦町出身）  
2018年度1次隊 青年海外協力隊  
派遣国：エジプト 職種：PCインストラクター  
2019年8月25日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## パソコン 楽しさ伝える

ピラミッド、ナイル川、アラブ文化、イスラム教の国。エジプトに赴任してちょうど1年がたった。日本に住む家族や友人からたびたび心配されるテロのニュースも、どこか遠くで起きた出来事のように感じるほど平穏な日常がここにはある。

私はPCインストラクターとして、カイロの隣ギザ県の公立小学校を巡回している。エジプトの教育は、暗記中心の知識詰め込み型が主流で、パソコンの授業も例外ではない。カリキュラムに沿った座学の授業も大切にしつつ、空いた時間で実践的なアクティビティーを取り入れ、「子どもたちが楽しくパソコンに興味を持てる」時間を提供できるよう、日々活動に臨んでいる。

また、私が活動を始めた同じタイミングで、「特活（特別活動）」を中心とした日本式教育がエジプト全土の小学校に導入されることになった。学級会、学級指導、日直の三つの活動が「ミニ特活」と呼ばれ、新年度の小1のカリキュラムから組み込まれた。

ミニ特活の普及も私の大切な活動の一つとなった。狙いは子どもの自主性、社会性、協調性を育むこと。トップダウンで個人主義の風土が根強いエジプトで、自ら考え行動する力や他人を認め尊重する心は、社会を変える大きな力になると信じている。

教員経験がない私だが、豊富な教育現場での経験を持つ協力隊仲間や、クリエイティブな現地の先生方に助けられ、この活動に挑戦してこられた。今後も倣い<sup>せま</sup>学びながら、エジプトの子どもたちや先生方と切磋琢磨<sup>せつさくたくま</sup>して成長を続けていきたい。



キャプション：  
日直の仕事をする子どもたち